

NHKはユニバーサルサービス拡充の一環として、総合テレビの一部の定時ニュースに手話を付与します。総合テレビの生放送の定時番組で、全体を通して手話を付与するのは初めてです。



画面イメージ

- 対象番組 NHKニュース
日曜日 夜8時45分～8時55分(全国放送)
夜8時55分～9時00分(関東甲信越)
- 開始日時 10月8日(日)～
- 画面形式・演出 通常のニュースに、キャスターに向かって左側に手話通訳を合成して放送します。
 - ・気象情報のマーク画面や選挙の結果画面などは、情報の多くを視覚的にお伝えできるため手話の付与は行いません

(取り組みの背景)

NHKは、誰もが等しく情報を受け取ることができる放送・サービスを目指し、手話放送の拡充に取り組んでいます。今年度も、人気番組のダイジェストに手話を付与したコンテンツを制作し、総合テレビやEテレで放送しているほか、4月の統一地方選挙の開票速報番組についても、Eテレで手話を付与して放送しました。視聴者の皆さまから好評の声をいただいています。

定時ニュースは生放送で突発の事態に対応する必要があるだけでなく、専門用語なども多く扱います。手話に正しく翻訳し、表現していくのは簡単ではありません。それでも、これまでの取り組みで培ったノウハウを生かすことで、正確性を担保することは可能だと判断しました。

「一日の出来事を手話で知りたい」という視聴者のニーズにお応えしてまいります。